常磐文藝

新川柳雜吟

新島新坊

謳はれた浮名の頃をなつかしみ
忠告を容れず世間を狹く住み
里子から歸つて母に親しめず
又一つ物にする氣の空涙
洗髮今日は旦那の來る日なり
水臭いからと盃洗どけさせる
隨行の方はズックの鞄なり
向ふ側聲を掛けたい人が行き

川柳

不洲坊

マラソンは下駄をはく間に通り過ぎ
一等は以外な顏に仰天し
マラソンは應援團が邪魔になり
『文園生る』
文園生る若者よろこべり
かくれたる天才文園現わるる

一冊の代金で御希望通りな五冊の雜誌が自由に讀める
平町長橋町三五
川崎巡回文庫
（申込次第規則書進呈）

看護婦派出の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

評判第一
久保田パン

◇處方調劑
◇工業藥品
◇染料藥品
◇渡邊藥局◇
平町三丁目
渡邊政五郎
（郵便局向）

新築開業
中の湯
平町南町（郡役所通り）

大勉強販賣
合資會社
石材商會
南町火見下
店主　鈴木彌米
中山岩其他各種
石造土木請負業

一切の藥品賣藥
醫料器具類各種
◇化粧品小賣◇
有効家傳藥有（りんびよう、こしけ、りようまち、肺病、ぜんそく、かつけ）
病癒相談所
くすりあわせ所
所長藥劑士　宇佐美友二郎
平町田町
一〇活版所南隣

▼外交員募集▲
◇業務簡易月收百圓以上あり
◇各自居宅に在りて本店との連絡取れます
◇御希望の方は履歷書持參の上御來談あれ外に優遇の方法あり
平町南町二〇（公會堂角）
日本勸業債券通信社
福島無盡株式會社
平代理店
現物賣買株式店
大谷保太郎商店
電話國二三四番

◇樂しい團樂に
食後のコーヒ……
コーヒは松本屋の品に限る
粉末コーヒー
四半ポンド一罐入　金四十錢
（御便利な）コーヒー入角砂糖百匁　三十五錢
平町四丁目
マツモトヤ
モシモシ二一四
振替仙臺六四一三

品質本位の金庫は
東京荒木製に限る
平驛前
福島茨城縣下代理店
高野得助商店
電話三二六番
◇御申込次第カタロク進呈仕候

平町
紺屋町
吉田眼科醫院

▼三大新映畫上場!!!
泰西活劇
雲間の月　全四卷
目下大好評の連續時代映畫
▼花の春遠山櫻　最終篇　全十二卷
芦屋映畫
現代正喜劇
死線を越て　全六卷
◇其の他實寫喜劇數種◇
帝キネ直營
帝國館
電話五五五番

株式賣買中値

左記の値段は本日の標準値に付御用の節は御問合願候

銘格	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五七〇
平銀行	五〇〇	七三〇
磐越銀行	一二五	一〇五
磐城實銀	三〇〇	二九五
田村實銀	一二五	一二五
四倉銀行	一七五	一七〇
農工銀行	二〇〇	二四五
同　新	一五〇	一八八
百七銀行	五〇〇	五五〇
同　新	一二五	一六〇
七七銀行	一二五	九八
郡山電氣	五〇〇	三八五
同　新	二五〇	一八〇
只見川電	一二五	七三
植田水電	一二五	一五五
好間水電	一二五	一四〇
磐城建物	一二五	五五
磐城製菓	二〇〇	六〇
平信託	五〇〇	三五〇
磐城勸業	一二五	一三五
植田物産	三〇〇	二八〇
平製氷	二五〇	二三〇
好間軌道	五〇〇	三五〇
入山新	三二五	一七〇
小田炭礦	二五〇	一一〇
磐城炭礦	五〇〇	四三〇
同　新	二二五	一九〇
磐城セメント	五〇〇	六八〇
同　新	二五〇	三七〇
平運送	一二五	八〇

賣買誠實懇切機敏に御取扱申候間多少に不拘御用命願候

東新株　先限實物
前塲後塲共入電致居候
平町田町　電話三二二番
丸登株式店
川添房二郎

常磐毎日新聞

六月五日夕刊

價定　一部金貳錢　一月極ニ限リ　一ヶ月卅錢
廣告料　五號十二字詰一行　五十錢
休刊日　日曜大祭祝日ノ翌日
福島縣石城郡平町田町卅六番地　印刷所　一〇活版所
發行兼編輯人　川崎文治
福島縣石城郡平町字長橋町卅五番地　發行所　常磐毎日新聞社

ハーヂング氏の

新聞道德に就て（四）

門傳清吾氏（寄）

之が爲め此の抹消をとがむる者なきも彼の男は前非を悔ひ改め立派な市民となるに至れる。斯る實例に徵するに或記事を抹消するは時に依りては之を發表すると同樣に頗る美しき倫理的効果を齎すを信ずるものなり又時に依りては新聞記事の掲載を差止むべき塲合あるを是認するものなり。例之國際上の重大なる問題、憲法を危殆ならしめ世の文明を危機に陷るゝが如き記事は之を公表する能はざる塲合あるが如き即ち之なり。

（へ）『米國新聞記者の任務』

社會の秩序を覆るし得るや自分は假に秩序の覆るゝ有とするも其は單に一時的の現象に過ぎざるを信ずるなり。諸君に於いても四千年間漸進し來りたり現代文明を全く別異なるものに變更するは蓋し不能なるべし、然るに實際に於いて現代文明は非常なる危機に瀕しつゝあり、思ふに我々米國人は世界の人々に比すれば遙かに其の地位幸福なり、然り我々は斯る狀態を利用し益々文明の鞏固を圖り以て範を世界に示す之刻下の急務なるべし、而して之を爲すには諸君に於て世上に推奬する足るべき眞理を包合する事實は一切之を紙上に掲載公表し依つて以て世道人心を指導し又社會の公序良俗を破壞する如き事柄は之を捨て之を執らざる事最も緊要なる事なりとす

（二）新聞道德律

新聞の第一の職分は人類に對し各個人が何事を爲し何を感じ何物を考へ居るやを報導するにあり、故に新聞業に於いては其の從業者に對し總ゆる事物を觀察し且つ之れを正しく推理するの能力を要求すると等しく亦彼等の廣汎なる智識と經驗とを要求するものなり

町民大會頗る緊張

松ケ岡公園に發電所反對の氣勢さみに擧る

聽衆無慮五千

平町三萬町民の死活問題である水道水源地への發電所不當許可問題に關する平町民大會は屢報の如本日午後一時より松ケ岡公園に於て**開會さ**れた是れに先き立ち同町青年團にては二臺の自働車に分乘して樂隊を奏し盛んに町内を疾驅して宣傳ビラを撒布し隊伍堂々會場に練り込んだが集來る聽衆無慮三千名と注せられ『町民**奮起せ**よ』或は『發電所許可反對』と黑痕に鮮やかに書き流された十數本の長旗薫風に飜き定刻三丁目區長大原長太郎氏の開會の辭に次ぎ植頭鶴松氏の指名を以つて座長を大原氏に決定井上茂作氏登壇『今や正に問題は急を急げて居る此場合徒らに何人かに欠陥ありしが爲めに非らざるや否や或ひは**第三者**の調査に待つて等の緩慢なる事を叫んで居る秋ではない先づ吾人の前に展開された此難問題を解決すべく擧町一致を以つて奮進すべきである』とて詳細に互つて同問題の經過顚末を説明し不當許可を敢ねてせる縣當局の甚だ横暴なるを聽衆に徹底せしめ次いで比佐信太郎氏は決議文を**朗讀し**大原座長より諮つた結果拍手喝采を以つて是れを可決し引續き柳澤篤義、小松茂、綠川喜三郎、酒井清、堀喜一川崎文治、三森虎雄、大森勇、吉田吾平、酒井國三郎其他の諸氏夫々熱辯を揮つて飽迄町民大會の趣旨目的を貫徹すべく契ふ處あり非常なる氣勢を擧げ充分に大會の使命を果して薄暮散會した因に當日の決議文左記の如くである

決議文

一、上水道の使命は衛生と火防の完きを期し吾人の生命と財産を保全するにあるしかるに是れを無視して電氣使用水利權を第三者に許可したるは全然不法にして縣當局の失態なりと認む速かに之を取消すべし

二、國家興隆の基礎は須らく自治團體の上に建設せざる可からず、然るにこの自治の精神を沒却し一營利會社のい使に追隨し吾人町民の生活を脅威せしめたるは直面の俗吏は斷々乎として是れを糺彈すべし

三、私利私慾に趁り本町百年の大計を誤り利と結びて正義人道を裏切る公人徒輩あらばこれ吾人の敵なり敢然起て糺明すべし

四、吾人同志はこの不當水利權取消し促進の爲め一切の手段を盡し遺算なきを期すものとす

五、以上の目的を達成せんが爲め町當局を鞭達し且つ聲援を與ふる者とす

軍用鳩を發し　無電の試驗　小名濱に感知

陸軍飛行隊下志津相馬郡中村町間の機上軍用鳩使用並びに無線電信發受試驗飛行は三日午後下志津を發し同日午後一時五十四分水戸市上空に於いて軍用鳩を放ち無電の發信を爲し歸隊したが小名濱町海岸に特設した陸軍無線電信受信所に完全に感知し成績良好であつたが今回の試驗飛行は軍用鳩と無線電信用試驗にて陸軍飛行隊の新しい試みである

磐城製氷界の　一大資本合同が決定

東京方面の製氷能率激減と共に大口の注文殺到し　平江名の兩社合併

平製氷株式會社にては曩に泉製氷と合併し資本金五十萬圓を以つて社運隆々たるものあるが更らに今回夏期に入り氷の需要益々多く現に震災後の東京製氷界の製造能率激減と共に大口の注文殺到する爲め江名製氷株式會社と合併し一層工場能率の增進を圖ると共に販路を擴張し基礎を强固ならしめんと兩會社の重役數回會見し折衝を重ねた結果昨日の平製氷重役會議に於て合併すべく確定不日兩會社の株主總會を開會是れを決定する筈であるが是れに依つて同社の資本金は六十萬圓に達する由

銀星初出陣　胡摩澤と試合

平町白銀町銀星俱樂部野球團は來る六日正午から磐中舊グラウンドに於て胡摩澤野球團と設立以來初めての試合を試みるべく目下猛練習中であるが銀星俱樂部のメンバーは左の通り

投手	佐藤	孝太郎
捕手	山本	正惠
一壘手	星	龜勝
二壘手	久栖	磐城
三壘手	大原	虎雄
遊壘手	山澤	健三
左手	柏木	勝利
中堅手	藤島	捨雄
右手	志賀	信雄

（補欠）伊藤貞衛　深谷丈
亥之吉●宮崎芳雄●加藤
夫●加藤政保●鈴木孝

◇社告　明日端午の節句に付き工場員及び配達係慰安の爲め休刊

不平受付　投書歡迎

吠付く犬を　通行人に對して無闇に吠え付く犬が町内に大部多くなりました、毎日商用で町を廻る小生の如きは甚だ迷惑で閉口して居ます相當取締りを要する事と思ひますから警察署長に警告を望んで止みません（愛讀者）

▽伊藤署長の答　當署に於ても是れを認めて居ますから飼養主に相當注意を發し無闇に吠ゆつく犬は繫留せしめ若し嚙み付いた樣な事實があれば狂犬の疑いがありますから檢査の上撲殺する事にします

カテイラン　柏餅の拵へ方

上等の米の粉を鉢に入れ、熱い湯を少しづつ入れ乍ら丈夫な箸で手早くかきませます、全體に濕氣がゆき渡つたならば（手につかぬくらゐの固さ）こんどは手に力を入れてよくこね、それを小さくちぎつて濡布巾をしいたせいろうに並べ、ごく强い火にかけて二十分程蒸すのです、割つて見て白い所のなき程蒸せたら、ほんとうは臼で搗くのですが鉢に入れて手でこねてもよい、このこね方がたりないと出來上つた粕餅が歯にねばりますから、力を入れ充分こねゝばなりません、それを水の中に入れて充分冷えたら、とり出してまたよくこねそれに片くり粉十匁を水溶きしたものを加へよくまぜ合せますこれで粉のきめが非常に細くなつて、光澤が出てくるのです、普通はこれだけですが砂糖を少し入れるといつ迄おいてもやはらかですこれで皮が出きましたから手のひらで小判形にのばして餡を包み合せ目をよく押へ濡布巾をしいた蒸籠に並べて蒸すのです

常磐片々

○『水が惡いは磐城の平』で名高かつた平町も今では全國第二の良質と稱せられる水道の水を呑む事が出來て大いに面目を施した

○然るに今度は發雲所不當許可で縣當局から散々面目を踏みつぶさる

○人が惡いと水も惡るくなる

○縣廳の俗吏共の素質が惡るい爲めに水迄惡るくされてはたまらぬ

○惡い奴バラは水道の細菌と共に是れが絶滅を期せ

○而し惡い奴バラも大勢には逆行が出來まいテ

庭の害虫

蟻の上る木を用心

梅雨時になつて來ると、色々の害虫が繁殖して庭の若木や盆栽を食ひ枯らします、かうした害虫は春先の若芽のもえ出る頃から秋口には非常な勢ひでふえるのでありますが。これ等の害虫が一度木にくつついたらすぐに手當をしてやらないと昨日までは青々と元氣よく枝をのばしてゐた庭木や盆栽が急にしぼんだり幹にうつろが出來て折れるやうになるのでありますあのぞつとする樣な**毛虫は生**ひ茂つた松やカエデや梅、櫻などの裏葉にくつついて柔らかい葉を食ひつくして行くのです油虫も綠の新芽に群をなしてくつゝいてゐるのですがこれ等を**驅除する**には僅かの石油乳劑を水でうすめ霧吹きで吹きかけるとぱら／＼と落ちて來ます、また例年秋口にカエデやシイに澤山ふえる**鉄砲虫は**今年はどうしたことかもう今頃から方々に見受けます、この虫は初めに木の幹にあの鋭い牙で傷をつけ木屑のやうなものを吹き出して居りますがやがては**少しの風**でも枝がぽきりと折れたり幹の節の處などががらんどうになつて折れてしまふのでありますこれ等はその虫の食つた穴に殺虫劑を入れて驅除せねばなりませんモチの木やモチコクのやうな**庭木には**よく綿をくつつけたやうに白くなつてゐるのを見受けますが、あれは矢張り害虫の繁殖で貝殼虫や油虫が寄生してゐるのであります、それがだん／＼ふえると木の葉や**枝が黑く**なつて一寸見た時はばい煙ですゝけたやうに見ゑますが拂つても／＼黑くなるのは害虫の尿にほこりがつくのでありますそしてこの尿はのやう**蜜に甘い**からアリが上つて來ますだからアリの上る木にはきつと害虫が發生してゐるのです、また梅雨上りとなつて**天氣が續**くと松や柴の葉が赤くなつて俗に陽燒けといつ居りますがあれはダニといふ害虫が發生したので忽ちの中に枯てしまひ升

募集

文藝其他一般投稿を募集します